外国語活動学習指導案

指導者　T１高原　知世
T２Cheryl Tan

１　学　年　第６学年２組（29 名）

２　単元名　We Can!②　Unit 2 Welcome to Japan

３　単元について

本単元は，韓国から本校に文化交流で来校する小学生に，日本の行事や食べ物，名所等，日本文化について紹介したり，相手の反応や質問を聞き，必要な情報を伝えたりすることを単元のゴールとしている。

そのため，紹介する際に活用できる英語表現を身に付けるとともに，外国の小学生と交流するという目的や場面，状況などに応じて，日本について，相手に伝える内容を整理した上で，本単元で身につける英語表現や既習の英語表現を用いて，自分の考えや気持ちを伝えられるようにする。

その際，学習のプロセスの中に自らのコミュニケーション活動について振り返り，改善していく場面を位置付けることで，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養っていく。

本学級の児童は，第４学年時に年間 35 時間，第５学年時に年間 70 時間の外国語活動の授業を経験している。

５月に行ったアンケート調査から，「外国語活動の授業に進んで参加しています」93%，「外国語活動の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています」97%と，目的意識を持ち，主体的に外国語活動の授業に取り組んでいると考えられる。しかし，「英語でやり取りをする際には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています」においては 79%と，課題がみられた。やり取りの中で，相手の話を聞き，その内容に応じて返事をしたり，必要な情報を伝えたりすることに難しさを感じている児童がいると考えられる。こうした現状を踏まえ，本単元では，日本のことについて一方的に情報を伝えるだけにならないよう手立てを講じる必要があると考える。

やり取りを行う際に，児童に定型文にはない反応や質問を投げかけることで，「相手にどのような反応を返すのがいいのか」，「どの表現が活用できるのか」を考えさせる場面を設ける。そして，繰り返しやり取り行う中で，コミュニーションを改善させていくことで，相手の反応や質問に応じて返答する自信を持たせていきたいと考える。また，その中で「知っている表現でつなぐこと」や「写真や動作を添えて話すこと」等，他者と分かり合おうとする際に大切なことにも気付かせていきたい。

４　単元目標

【コ】他者に配慮しながら，日本文化について伝え合おうとする。

【慣】日本の行事や食べ物等，日本文化について聞いたり話したりする表現に慣れ親しむ。
　　例を参考に日本文化について紹介する文を書くことに慣れ親しむ。

【気】日本と外国のくらしや習慣，文化などの違いに気付く。

5　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 他者に配慮しながら，日本文化について伝え合おうとしている。	① 日本の行事や食べ物，名所等，日本文化について聞いたり話したりする表現に慣れ親しんでいる。 ② 例を参考に日本文化について紹介する文を書くことに慣れ親しんでいる。	① 日本と外国のくらしや習慣，文化などの違いに気付いている。

6　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	韓国から本校に文化交流で来校する小学生に，日本のことを知ってもらおう。
目指す発話例	A：Welcome to Japan. What Japanese food do you know? B：I know sushi, tempura, soba… A：I see. We have okonomiyaki. It's Japanese food, too. It's famous in Hiroshima. It's delicious. B：Sounds good! Where is your favorite place in Japan? A：My favorite place is Kinkakuji in Kyoto. B：What is Kinkakuji? A：It's a gold temple. It's beautiful. B：I see.

7　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<u>Welcome to Japan.</u> <u>In (summer), we have (fireworks festivals).</u> What［food/games］ do you have in Japan? We have [soba/fukuwarai]. It's [delicious/fun]. <u>You can enjoy [rakugo/hanami/tempura].</u> <u>What［food/events］ do you know in Japan?</u> My favorite [food/place] is [sushi/Miyajima].	<u>we, culture, temple, castle, fireworks, popular, traditional, 日本の行事(snow festival)</u> <u>味覚(sweet, bitter, sour, salty, spicy)</u> <u>soft, hard, chips</u> 状態・気持ち，スポーツ，飲食物，季節，月

8　単元計画

時	目標（◆），主な活動（〇），やり取り（★），誌面上に記載【　】	評価規準・評価方法
1	◆単元の見通しを持ち，外国の文化について聞き取ったり，日本の行事や食べ物，名所等を言ったりする。 【Let's Watch and Think 1】p.12 ・外国の子供たちが自国のことについて話している映像を視聴し，各国の行事や食べ物等の内容を話の内容に合うように，誌面上のイラストを線で結ぶ。 ★Small Talk：What country? (韓国について)　(T↔S) ・【Let's Watch and Think 1】に続ける形で"What country?"クイズとして韓国を話題に出し，韓国から小学生が文化交流に来校することを伝える。 〇韓国から小学生を迎えるにあたり，どのような交流にするのがいいかを話し合い，日本らしい物や交流に必要だと考えられる表現を出し合う。 （We Can!にあるイラストや写真を参考にさせる） 【Let's Play 2】Key-Word Game p.11　"We have ~."（上記の活動で出た行事や食べ物，名所等を扱う。） 〇単元のゴールと大まかな単元計画を共有する。	【慣①，気①】 行動観察，We Can 書き込み，振り返りカード分析
2	◆日本の行事ついて，行われる季節や楽しめることを聞いたり言ったりする。 ★Small Talk：好きな季節とその理由 A：What's your favorite season? B：My favorite season is spring. A：Why? B：We have hanami in spring. I like cherry blossoms. A：I see. 〇Let's Play　神経衰弱ゲーム ・グループ内で順に２枚ずつカードをめくり，出たものについて全員で"We have ~."と言う。２枚とも同じカードが出たらそのカードをもらう。（前時の Key-Word Game で扱った題材を使用する。） 【Let's Play 1】Three Hint Quiz　p.10,11 ・指導者が出すヒントを聞いて，行事名を答える。 【Let's Watch and Think 1】p.12 ・第１時と同様に，別の 2 人の登場人物が自国のことについて話している映像を視聴し，各国の行事や食べ物等の話に合うように，誌面上の絵を線で結ぶ。 【Let's Listen 1】p.12 ・日本の四季における行事や祭りについての話を聞き，内容に合うように□に番号を書く。	【慣①，気①】 行動観察，We Can 書き込み，振り返りカード分析

	・前時に学習した“We have ～.”以外にどのような表現が聞こえたか，どんな内容の話だったか等を出し合い，共有する。 【Let’s Chant】Welcome to Japan. p.13 ★Let’s Talk：日本の行事について紹介する。 ・第１時で出ていた日本の行事について，行われる季節や楽しめることを出し合い，指導者を真似て繰り返し言う。 ・自分の紹介したい行事について，ペアの友達と伝え合う。 Ex：In (spring), we have (hanami). You can see (cherry blossoms). It’s (exciting).	
3	◆日本の食べ物について，味覚等も含めて聞いたり話したりする。 ★Small Talk：好きな行事とその理由 A：What’s your favorite Japanese event? B：My favorite event is New Year’s day. A：Why? B：I can eat ozoni. I like omochi. A：I see. B：How about you? 【Let’s Chant】Welcome to Japan. p.13 【Let’s Watch and Think 2】p.13 ・誌面に登場している日本食についてどのように紹介されているか予想する。 ・デジタル教材で音声を聞き，日本食についてわかったことを誌面に記入する。 ・行事の時と比較しながら，出てきた表現やわかったことを出し合い，共有する。 〇Let’s Play　ダウトゲーム ・指導者が言う“We have ~. It’s (味覚).”を聞き，真似て繰り返し言う。２文の組み合わせがおかしいと感じた際には，繰り返さず手を挙げる。 【Let’s Watch and Think3】p.14 ・映像資料を視聴し，内容に合うように線で結んだり，わかったことを誌面に記入したりする。 ★Let’s Talk：日本の食べ物について紹介する。 ・自分の紹介したい食べ物について，ペアの友達と伝え合う。 Ex：We have (umeboshi). It’s (sour). I like (umeboshi).	【慣①】 行動観察，We Can 書き込み，振り返りカード分析
4	◆日本の遊びについて聞いたり言ったりする。 ◆日本について自分の紹介したいことを整理し，話す。 【Let’s Chant】Welcome to Japan. p.13 ★Small Talk：好きな日本食とその理由	【慣①②】 行動観察，We Can 書き込み，ワークシート，振り返りカード分析

	A：What's your favorite Japanese food? B：My favorite food is sushi. A：Why? B：It's delicious. A：OK.　What's your favorite sushi? B：My favorite sushi is salmon. 【Let's Watch and Think 4】p.14 ・映像資料を視聴し，内容に合うように◯や△等を記入する。 ・行事や食べ物の時と比較して，気付いたことを出し合い，共有する。 ★Let's Talk：日本の文化を紹介する。 ・指導者の紹介を聞き，それについての質問に答える。 ・自分が紹介したい日本文化を選び，どのような内容を話すかをグループで準備・整理し，他グループの友達と伝え合う。 ・行事，食べ物，遊び以外に紹介したい日本文化がある児童がいた場合には，これまでに学習した表現を活用して，どのように伝えればいいか全体で考えさせる。 【Let's Read and Write】p.16 ・自分の紹介したい日本文化を，例を参考に書く。(２文程度) Ex：We have (fireworks festivals).　We have (sushi).	
5 本 時	◆相手の話を聞き，その内容が分かったり，相手に配慮して，自分たちの日本紹介の内容を整理し直して話したりする。 ★Small Talk：好きな日本文化とその理由 【Let's Chant】Welcome to Japan. p.13 ★Let's Talk：日本の文化について交流する。 ・前時に準備・整理した内容をもとに，グループで紹介し合う。 ・代表グループが前に出て，ALT に日本文化を紹介する。その中で，困ったことや気付いたことを出し合い，共有する。 ・代表グループのデモンストレーションをもとに，自分たちの日本紹介の内容を整理し直したり，工夫を考えたりする。 ・グループごとに ALT と日本文化についてやり取りを行う。 ・自分たちのコミュニケーションを振り返り，改善しながら再度やり取りに挑戦する。	【コ①】 行動観察，振り返りカード分析
6	◆紹介したい日本文化について，その名称等を，例を参考に書く。 【Let's Listen 2】p.13 ・デジタル教材を視聴し，わかったことを誌面に記入する。 ・日本食が外国でどのように広まっているか気付きを交流する。 ◯相手の立場になって，日本の文化紹介をよりよいものするための工夫を	【慣②】 行動観察，ポスター，振り返りカード分析

	話し合う。 【Let's Read and Write】p.16 ・自分の紹介したい日本文化を，例を参考に書き，ポスターを作成する。	
7	◆相手の反応や質問を想定して，日本の文化について紹介する。 【Let's Watch and Think 6】p.15 ・映像資料を視聴し，わかったことを誌面に記入したり，共有したりする。 ★Let's Talk：日本の文化について交流する。 ・前時に作成したポスターを使いながら，日本の文化について紹介する。 ・ALT や相手役の友達の反応や質問に応じて，やり取りを進める。 【STORY TIME】p.17 ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を２～３回聞き，音声の後に続いて言う。	【コ①】 行動観察, 振り返りカード分析
8	◆他者に配慮しながら，日本の文化について聞いたり話したりして交流する。 ★Let's Talk ・韓国から来校した小学生と互いの文化について交流する。 〈目指す発話例〉 A：Welcome to Japan. What Japanese food do you know? B：I know sushi, tempura, soba… A：I see. We have okonomiyaki. It's Japanese food, too. It's famous in Hiroshima. It's delicious. B：Sounds good! Where is your favorite place in Japan? A：My favorite place is Kinkakuji in Kyoto. B：What is Kinkakuji? A：It's a gold temple. It's beautiful. B：I see. A：How about Korea?	【コ①，気①】 行動観察, 振り返りカード分析

9　本時の計画

（1）　目標

相手の話を聞き，その内容が分かったり，相手に配慮して，自分たちの日本紹介の内容を整理し直して話したりする。

（2）評価規準

【コ】相手の話す内容を分かろうとしたり，相手の反応を考慮しながら，日本文化について伝えようとしたりしている。

（3）展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
1 挨拶 2 Small Talk 好きな日本文化とその理由	T2: Hello. How are you?　How's the weather today? What day is it today?　What's the date today? ・T1 と T2 の会話から数名の児童に話題を投げかけた後，児童同士でやり取りを行う。 ・気付きや困り感を共有し，全体で解決策を考えた後，それを参考に 2 回目のやり取りを行う。 A: My favorite Japanese food is sushi. It's delicious. B: What sushi do you like? A: I like salmon. Do you like sushi? B: Yes, I do. I like tuna. My favorite Japanese event is New Year's Day. I can eat special foods.	
Aim：相手に満足してもらえるように，自分たちの日本文化紹介を進化させよう。		
3 Review ・前時にグループで考えた日本文化紹介の内容を確認し，練習する。	・自信を持って次の活動へ取り組めるよう，指導者はグループを周り，児童から表現を引き出したり，支援したりする。	
4 Let's Talk ・代表グループが前に出て，ALT と日本文化についてやり取りを行う。 ・気付きや困り感を共有する。 ・グループごとに ALT	・代表グループに挑戦させたり，他のグループに観察させたりする中で，自分たちが考えていた紹介内容の課題点に気付かせる。 ・代表グループの良かった点を出させたり，課題点について，「どのような表現が使えるか」や「どのような工夫ができるか」等を考えさせたりし，出てきた意見を板書に位置付けることで，自分たちのやり取りに活かせるようにする。	【コ】相手の話す内容を分かろうとしたり，相手の反応を考慮しながら，日本文化について伝えようとしたりしている。 行動観察，振り返りカード分析

と日本文化についてやり取りを行う。 ・気付きや工夫点を交流する。	・T2 だけでなく複数の ALT に相手役になってもらうことで児童が，繰り返しやり取りに挑戦できるようにする。 ・やり取りを行った後は，グループで自分たちのやり取りを振り返り，「どのような表現が使えるか」や「どのような工夫ができるか」等を話し合い，実際に言ってみた上で，再度 ALT とのやり取りに挑戦するよう助言する。 ・全体に広げたほうがいいと考えられる気付きや工夫があった場合には，適宜活動を止め，全体に提案させる。 S: We have sushi. A: I know sushi. But I don't like seafood. S: OK. Do you like noodles? A: Yes, I do. S: We have soba. It's good and healthy. I like soba. A: Sounds good. I want to know about Japanese festivals. S: I see. We have summer festivals. A: What can I do at the summer festivals? S: You can see big fireworks. It's exciting. A: Oh, nice! Thank you.	
6 振り返り	・本時の学習を通して，できたこと及び課題として残ったことをもとに，新しく気付いた自分たちの紹介を進化させるための工夫等を視点に振り返るよう促す。 〈期待される振り返り例〉 ・相手に満足してもらうには，一方的に紹介するのではなく，相手の知りたいことによって紹介する内容を工夫する。 ・うまく伝えられない時は，知っている表現を組み合わせて付け足しをしたり，ジェスチャーや写真を使って話したりすると伝わりやすくなる。	